

広津よ永遠に シリーズ その 11

2011.11.23

晩秋の広津の様子をお知らせします。1週間位前から寒くなってきました。ここ数日は最低気温がマイナスになりました。21日には大峰高原では雪が舞ってきました。道路には沢山の落ち葉があります。車は滑るので注意が必要です。軽トラックに道路端の落ち葉を拾い集める光景を良く見かけます。自家用の堆肥にする人以外に、腐葉土にする商売人のような人も見かけます。1昨年11月に河口湖周辺の登山に出かけた時も多く見かけました。でも原発の事故で、腐葉土も汚染されてスーパーが回収する騒ぎや、学校の恒例の落葉たき（それで焼き芋を焼いて食べる）も中止になったりしています。目に見えない放射能は本当に困りますね。あらゆる物が汚染されてしまいました。私もきのこ採りは自粛しました。（この辺は大丈夫そうですが）干し柿はしていますが。シリーズ 10 で掲載した、成就院の大銀杏が見事に、そして綺麗に紅葉しました。

落ち葉が沢山・腐葉土になります



成就院の銀杏の紅葉



今年は紅葉せずに枯葉になるかつらの木などが目立ちましたが、害虫によるとの事でした。（害虫の名前は新聞に載ったけどメモしなかったので不明。ただ木を枯らす事はないとの事です）すっかり有名になった「七色大カエデ」の紅葉は今年は早く終わり、11月に入ったら枯れ始めました。

10月に植えられたカミツレは冬を越します



大カエデ



10月に植え付けした「カミツレ」(カモミール)はこれからの寒さに負けずに越冬します。広津には沢山の柿の木がありますが、持ち主が町へ転居したり、住民の高齢化で実をつけたまま熟しています。もったいないですね。もっとも大木になってしまい、手におえない木も多いですが。柿の木は折れやすいので、木登りは危険です。猿や熊が近づくのではと心配します。広津は住宅地の町からそれほど離れていないのに、猿、鹿、熊、キジ、キツネ、ハクビシンなどが生息しています。そのために折角作った作物が動物に食べられてしまいます。

畑は動物からの食害を防ぐために電気柵が覆う



自前の除雪車です



そのためにネットや電気柵が補助金を受けたりして設置されてきました。狩猟の時期になると広津には沢山の鉄砲撃ちが見られます。かつてはキジやウサギ、山鳥が対象になっていましたが、最近はグループでの鹿が対象になっているようです。農作物を荒らされた恨み?なのか、地元の人も見かけます。

農家は、大根、白菜、野沢菜の収穫期です。広い畑が少ないのでほとんどが自家用(子供や親せきにやったり)のようです。これから月末にかけて、野沢菜を収穫し、洗ったり、漬けたりの風景が見られます。信州の風物詩です。

晩秋の風景



道路の除雪も県道は県が、町道は委託された広津の住民が数人でやっています。ある集落(2軒のみ)に自家用?の除雪車があります。今年も早くもスタンバイしています。ジープ型の自動車の先端にスノプラをつけて、タイヤにはチエンを巻いてあります。冬の一時期しか使わない車です。車の税金や保険料、車検代などは個人持ち?なのか、町から補助金が出ているのか不明です。